

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月16日

【評価実施概要】

事業所番号	873600613		
法人名	社会福祉法人 樫山会		
事業所名	高齢者グループホーム 和みの家		
所在地	銚田市樫山579-1 (電話) 0291-37-3338		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年11月20日	評価確定日	平成20年6月16日

【情報提供票より】 (平成19年10月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	5 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1階建ての1部2階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	59,000 円	
敷金	有() 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要 (10月15日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	3	要介護2			
要介護3	4	要介護4	2		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 83.8 歳	最低	76 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大洗海岸病院 高柳歯科医院 樫山診療所
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

木のぬくもりのある家庭的な雰囲気です。「安らぎの家をめざして」の運営理念やマニュアルの整備など運営体制を確立している。
職員は利用者の日々の行動や表情から、暮らし方の希望や意向等を汲み取り、その人らしく暮らし続けられるよう支援している。
併設する福祉施設との交流を持ち、リハビリ等にも出かけるなど、利用者の自立支援を常に心がけている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 外部評価の意義を理解し、前回の改善項目は改善されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 施設長や職員は評価の意義やねらいについてよく理解しており、評価に全員で取り組んでいる。 外部評価での課題を全員で見直しを行い、改善に取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議で利用者の現況やホームの行事、取り組みを報告している。 会議は報告や情報交換に止まらず、評価の取り組みや評価後の改善の取り組みをモニターするなど、更なるサービスの向上を図る取り組みを期待する。 施設長は市担当者や直接連携を図る機会をもつことも多く、考え方や実態を共有するようにしている。 また市社会福祉協議会の評議員として関係機関と連携をとっている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族には定期的に「もみの木だより」の発行と利用者の日常の状況が分かるよう写真を送付している。 金銭管理については、出納帳のコピーを定期的に家族に報告している。 苦情相談委員会を設置し、意見があった場合は委員会を開催するとともに、対策を検討している。 家族交流会や面会時に問いかけ、自由に発言できる雰囲気づくりに留意している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の敬老会や近隣の小学校の運動会に利用者とともに積極的に参加している。 また、幼稚園児の「ホームたんけん」遊びに協力するなど、地域との交流に努めている。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「安らぎの家をめざして」を理念に、地域社会の交流行事に積極的に参加し、実践を通して理念の実現に努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は介護の現場やミーティングなどで日常的に話し合い、日々の実践の中で活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の敬老会や近隣の小学校の運動会に、利用者とともに積極的に参加している。 また、幼稚園児の「ホームたんけん」遊びに協力するなど、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長や職員は評価の意義やねらいについてよく理解しており、評価に全員で取り組んでいる。 外部評価での課題を全員で見直しを行い、改善に取り組んでいる。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で利用者の現況やホームの行事、取り組みを報告している。	○	会議は報告や情報交換に止まらず、評価の取り組みや評価後の改善の取り組みをモニターするなど、更なるサービスの向上を図る取り組みを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長は市担当者と直接連携を図る機会を持つことも多く、考え方や実態を共有するようにしている。 また、市社会福祉協議会の評議員として関係機関と連携をとっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に「もみの木だより」の発行と毎月利用者の状況がわかるよう写真を送付している。 金銭管理については、出納帳のコピーを定期的に家族に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情・相談委員会を設置し、意見があった場合は委員会を開催するとともに、対策を検討している。 家族交流会や面会時に問いかけ、自由に発言できる雰囲気づくりに留意している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職があった場合は早急に対処し、引継ぎの申し送りを十分に行い、スムーズに業務が継続できるよう配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長は職員育成のため、外部研修に参加できるよう体制づくりをしている。 また、研修参加後に研修報告書を作成し、勉強会で発表するとともに報告書を誰もが閲覧できるようにしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症高齢者グループ協議会等が主催する研修会等に参加し、同業者と交流し、研修受講により、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が不安にならないよう、事前のホーム見学で職員や利用者とのコミュニケーションを図ることにより、安心感をもてるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が得意分野で力を発揮できるよう、また、一緒に過ごしながら、利用者から学んだり支え合う関係を築くことができるよう工夫している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日々の行動や表情から思いを汲み取り、その人らしく暮し続けられるよう支援することを心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントにより把握した家族や本人の意向を踏まえ、生活上の課題や希望がかなえられるように、利用者本位の介護計画を作成している。 定期的にケアカンファレンスを行い、問題点や改善すべきことを話し合っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間や状態の変化ニーズに応じて介護計画を見直ししている。 見直しを行う際には、利用者の実情に即した介護が行えるようミーティングを開き、話し合っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じ、通院や送迎・急な外出や宿泊等に必要な支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医のほか疾病に応じた利用者のかかりつけ医など、複数の医療機関と連携を図るとともに、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームは自立している方が入所の条件となっており、入所時の説明で家族の理解を得ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りを傷付けないさりげない誘導や声かけ・見守り等を行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、利用者一人ひとりの状態や思いに配慮しながら、趣味や買い物・散歩・楽しみなど希望にそった支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が同じテーブルを囲み、会話をしながら楽しく食事をしている。 利用者の希望のメニューを取り入れている。 食事の準備や盛りつけ、片付けなどを利用者と一緒に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日行っている。 利用者の体調により午前中の中入浴やシャワー浴など、入浴を楽しめるように支援している。 また、ゆず湯や菖蒲湯など季節感を取り入れる工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や特技を上手に引き出し、活け花・編み物・裁縫・カラオケ・食事づくり・盛りつけなどの役割や楽しみごとの支援をしている。 利用者の手づくりのランチョンマットを食事時に使用している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩の支援をしている。 時には近隣に出かけ、喫茶や手作り弁当を楽しんでいる。 設置法人が運営しているデイサービスや特別養護老人ホームの友人を訪ねる等の支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関等の出入りは鍵をつけずに自由な暮らしを支援している。 徘徊の原因を追究し、職員と一緒に歩くななどのケアを行っている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時対策のマニュアルを作成し、消防署との連携を図るとともに、年3回、地元の消防団の協力を得て避難訓練を実施している。災害時の食事提供について近くのレストランと契約を結んでいる。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立を作成しており、栄養のバランスに配慮している。食事量・水分摂取量を毎食記録し、利用者一人ひとりが必要な量が取れるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	床暖房の食堂と炬燵のある和室は見通しが良く、採光と心地良い音楽・観葉植物等で落ち着いた空間が作られている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から持ってきたラジオ・テレビ・写真・寝具類などを利用者の生活スタイルに合わせて備え、居心地よく過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。